

荏原製から新明和製へのポンプ交換

クボタ小型浄化槽

目 次

1. 安全のために必ずお守りください	1
2. 交換の手順	2



注意

取扱説明書本文に出てくる警告・注意表示の部分は、ポンプ交換作業の前に注意深くお読みになり、よく理解してください。

For Earth, For Life
Kubota

1. 安全のために必ずお守り下さい

<シンボルマークの説明>

本書では、以下に示すシンボルマークを使っています。

	警告	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合に使用者が傷害を負う危険および物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
弊社製品を正しく、安全にご使用いただくために次の項目を必ずご熟読の上、十分にご注意下さい。

1-1. 交換作業に関する注意事項(維持管理担当の方へ)

警告 感電・発火・巻き込まれ事故防止

- ポンプの取扱説明書を必ず確認し、安全上の注意を守って下さい。
- 機器を点検・交換する場合は、必ず機器の電源を切ってから行ってください。
- 原則としてポンプの電源コードはポンプ槽内で継ぎ足さないでください。継ぎ足す必要がある場合はポンプと干渉しない位置にプルBOXを設置する等、防水対策をしてください。
- 電源コードの上には、ものを置かないでください。
この注意を怠ると、感電・発火の生ずるおそれがあります。
- 100V/200V(单相・三相)、50Hz/60Hz 電源仕様区分を必ず確認下さい。
この注意を怠ると、器物破損・傷害の生ずるおそれがあります。
- 濡れた手で電源接続部を触らないでください。

注意

- 異常を感じたらすぐに停止してください。
- 電源ケーブルを延長するときは適正なケーブルを使用しないと電圧降下し、故障等の原因となります。
- ポンプの分解、改造は行わないでください。

2. 交換の手順

共通事項

荏原製作所製と新明和工業製のポンプは制御方法が異なり、互換性がありません。
そのため、1台のみ故障の場合でも必ず2台同時に交換してください。

2-1. DWX(A/J)型(口径30)から新明和 CRB321ES への交換

必要な部材:塩ビソケット(φ30)、塩ビ接着剤

- ① ユニオンを緩め、古い DWXA 型、DWXJ 型を取り外します。
- ② 塩ビの縦管を外し、長さを調整(10mm短く)します。
 - ・塩ビの縦管をパイプカッターやノコなどを用いて真ん中あたりで切ります。
 - ・切った縦管のうち、下側を25mm短くなるように切ります。
 - ・縦管を塩ビソケット(φ30)でつなぐために、ソケットに差し込む側にパイプの端から40mmのところを線を書きます。
 - ・切ったパイプの断面を面取りします。
 - ・ソケットとパイプの両側に塩ビ接着剤を塗り、線のところまで押し込んだあと、30秒間保持します。

* 接着剤の塗布量が不足している場合や塗布から差し込みまで時間が経過しすぎた時は目安の線まで差し込めないことがありますので注意してください。
- ③ 新しいポンプ(新明和 CRB321ES)と縦管をつなぎます。このとき、バルブソケットに新しいシールテープを巻くようにしてください。
- ④ ポンプと縦管を放流ポンプ槽の元の位置に戻し、ユニオンを締め込み、固定します。この時、斜めにならないように注意してください。水漏れの原因となることがあります。





2-2. DWX(A/J)型(口径40)から新明和 CRB321ES への交換

必要な部材: 塩ビ異形ソケット(φ30×φ40)、塩ビパイプ(φ30)、塩ビバルソケ(φ30)、塩ビ接着剤

- ① ユニオンを緩め、古い DWXA 型、DWXJ 型を取り外します。
- ② 塩ビの縦管を外し、長さを調整(10mm短く)します。
 - ・塩ビの縦管をパイプカッターやノコなどを用いて真ん中あたりで切ります。
 - ・切った縦管のうち、下側を34mm短くなるように切ります。
 - ・縦管を塩ビソケット(φ30)でつなぐために、ソケットに差し込む側にパイプの端から50mmのところを線を書きます。
 - ・塩ビバルソケ(φ30)に塩ビパイプ(φ30)を接着し、切った縦管の下側と現物合わせで同じ長さにします。その後、パイプの端から40mmのところを線を引きます。
 - ・切ったパイプの断面を面取りします。
 - ・ソケットとパイプの両側に塩ビ接着剤を塗り、線のところまで押し込んだあと、30秒間保持します。この時、縦管の組合せが入れ替わらないようにしてください。長さが微妙に合わなくなる恐れがあります。
* 接着剤の塗布量が不足している場合や塗布から差し込みまで時間が経過しすぎた時は目安の線まで差し込めないことがありますので注意してください。
- ③ 新しいポンプ(新明和 CRB321ES)と縦管をつなぎます。このとき、バルブソケットに新しいシールテープを巻くようにしてください。
- ④ ポンプと縦管を放流ポンプ槽の元の位置に戻し、ユニオンを締め込み、固定します。この時、斜めにならないように注意してください。水漏れの原因となることがあります。

2-2. DWS(A/J)型(口径40)から新明和 CRB321ES への交換

必要な部材: 塩ビ異形ソケット(φ30×φ40)、塩ビパイプ(φ30)、塩ビバルソケ(φ30)、塩ビ接着剤

- ① ユニオンを緩め、古い DWSA 型、DWSJ 型を取り外します。
- ② 塩ビの縦管を外し、長さを調整(4mm短く)します。
 - ・塩ビの縦管をパイプカッターやノコなどを用いて真ん中あたりで切ります。
 - ・切った縦管のうち、下側を28mm短くなるように切ります。
 - ・縦管を塩ビソケット(φ30)でつなぐために、ソケットに差し込む側にパイプの端から50mmのところを線を書きます。
 - ・塩ビバルソケ(φ30)に塩ビパイプ(φ30)を接着し、切った縦管の下側と現物合わせで同じ長さにします。その後、パイプの端から40mmのところを線を引きます。
 - ・切ったパイプの断面を面取りします。
 - ・ソケットとパイプの両側に塩ビ接着剤を塗り、線のところまで押し込んだあと、30秒間保持します。この時、縦管の組合せが入れ替わらないようにしてください。長さが微妙に合わなくなる恐れがあります。
* 接着剤の塗布量が不足している場合や塗布から差し込みまで時間が経過しすぎた時は目安の線まで差し込めないことがありますので注意してください。
- ③ 新しいポンプ(新明和 CRB321ES)と縦管をつなぎます。このとき、バルブソケットに新しいシールテープを巻くようにしてください。
- ④ ポンプと縦管を放流ポンプ槽の元の位置に戻し、ユニオンを締め込み、固定します。この時、斜めにならないように注意してください。水漏れの原因となることがあります。

以上